

2025年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（口述試験その他）行動科学研究室・英語文献読解等 全4枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 4枚、解答用紙 4枚を配付する。

下記は、子どもの連言錯誤（conjunction fallacy）に関する研究論文の一部を抜粋・改変したものである。これについて、以下の問に答えなさい。解答は、問ごとに別の解答用紙を用い、冒頭に問番号を記入しなさい。

*問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学院教務担当の窓口で閲覧してください。

問1

下線部(1)について、連言錯誤（conjunction fallacy）とはどんな認知バイアスかを説明しなさい。

問2

下線部(2)について、トヴェルスキーとカーネマンはどのように連言錯誤を説明したのかを説明しなさい。

問3

下線部(3)について、社会的判断における連言錯誤の特徴を説明しなさい。

問4

下線部(4)について、この研究の仮説はどんなものを説明しなさい。

（出典: Marshall, D. A., & Meins, E. (2024). Probability errors in children's judgements about the likelihood of social characteristics. *Developmental Psychology*, Advance online publication. <https://doi.org/10.1037/dev0001815>）